

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和4年3月
タイトル	ファームポンド内の清掃作業に参加しました
水土里レポーター名	沖永良部土地改良区 外山 義規

令和3年6月10日、九州農政局沖永良部農業水利事業所の主催による、国営事業で整備された越山ファームポンドの清掃作業に参加しました。

作業は、事業所、沖永良部土地改良区、和泊町、鹿児島県沖永良部事務所農村整備課の精鋭17名により、午前9時から午後4時まで掛かりました。

ファームポンドの排泥管のピット部（地下に設けた配管を通すための空間）にあるグレーチング（溝蓋）にスケール（※）が付着し、グレーチングが詰まる事例が発生しています。

今回、国営事業の施工から7年経過したファームポンドの現状把握も兼ねて清掃を行い、土嚢袋約30袋分のスケールを搬出しました。

ファームポンド完成後、今回が初めての清掃作業でしたが、7時間かけて底盤をきれいにする事ができました。また、スケールはさほど堆積していませんでしたが、土砂が思いの外多かったため、搬出に苦労しました。

（※スケールは地下水から表出した石灰のこと。）



①作業前



②トンボやレーキにて収集



③スケール搬出作業



④作業後